

令和5年度第1回古賀市健康づくり推進協議会議事録

標題の件について、下記のとおり実施したので、議事録を作成する。

1. 日時 令和5年6月27日（火）19:00～21:00 まで
2. 場所 サンコスモ古賀 201・202 研修室
3. 出席委員：中山景一郎 会長、瓜生正 副会長
高田昇平 委員、松尾和枝 委員、江口泰正 委員、太田雅規 委員、
南里明子 委員、谷口和也 委員、河野美希江 委員、高橋克彦 委員、
吉永憲市 委員、小林祥子 委員、大森睦子 委員、山口茂 委員、
田中早穂 委員
4. 欠席委員：花田亜紗美 委員
5. 傍聴者：なし
6. 諮問・報告・議事
 - (1) ヘルスアップぷらん（古賀市健康増進計画（第二次）・古賀市食育推進計画）の取組みについて
 - ・4つの柱でみる取組状況
 - ・食育推進計画の取組状況
 - ・その他取組状況
 - (2) 市民アンケート集計結果について
 - (3) ヘルスアップぷらん（古賀市健康増進計画（第三次）・古賀市食育推進計画（第二次））について
7. 資料
 - 【資料 1-1】 第2次計画期間の取組
 - 【資料 1-2】 H30～R4 食育推進計画の取組
 - 【資料 1-3-①】（人材育成資料）健康づくり啓発事業（健康測定）の実施状況
 - 【資料 1-3-②】（人材育成資料）校区別健康づくり等関連サポーター数
 - 【資料 1-3-③】（人材育成資料）地域健康づくり支援体制
 - 【資料 1-4】 日本の栄養政策 2023
 - 【資料 1-5-①】 古賀市高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の取組について

【資料 1-5-②】 R4 一体化事業実績

【資料 2-1】 第二次計画（目標）の達成状況.

【資料 2-2】 古賀市の現状～市民アンケート結果より～

【資料 3】 次期国民健康づくり運動プランに係る自治体説明会

【別 冊】 市民アンケート調査結果概要

【新規委員用】 ヘルスアップぷらん～古賀市健康増進計画（第二次）・食育推進計画～

【当日配布】

- ・古賀市健康づくり推進協議会要綱(平成 18 年 3 月 1 日告示第 60 号)
- ・朝活「官学連携」西日本新聞記事
- ・R3 社会保障給付費の安定に向けて

8. 署名

会長	
会長の指名する出席委員	

9. 会議内容

(1) ヘルスアップぶらん（古賀市健康増進計画（第二次）・古賀市食育推進計画）の取組みについて

事務局より、ヘルスアップぶらん（古賀市健康増進計画（第二次）・古賀市食育推進計画）の取組みについて説明。 <資料 1-1-①～1-5-①>

【質疑】

○ 表 1-3-③について、

1. ヘルス・ステーションの立上げ状況について、現在 14 となっているがこれは古賀市の計画通り順調に伸びているのか。
2. また、ステーションの活動が少し衰退しているところがあると聞いているがどのような現状や課題があるのか。
3. 体力測定、インボディ測定の利用状況を見ると、古賀西校区までは丸の数が多いが、古賀西校区より下に記載している地域（活発に活動している花鶴校区も含め）は○がついていない、このあたりの違いは何か。

1. ⇒市が掲げるヘルスアップぶらんの中でのヘルス・ステーションの設置目標は、今年度末までに 25 であり、目標に達していない。
2. ⇒ヘルス・ステーションの設置に至らない地域でも、介護予防や健康づくりに関する活動を実施している地域も多い。ヘルス・ステーションを設置していない地域が何も活動がない訳ではないが、ヘルス・ステーションは区の中で行政からの発信や情報連携のハブ的な役割を担うため、設置については今後も呼びかけていきたい。

しかし、市民主体の事業であり、人材の有無やサポート体制など地域の実況に応じて支援している。地域で人材がいらないために設置できない地域もあり、地域を支えるサポーターの養成等人材育成にも力を入れていきたい。

また、1人で色々なサポーターを掛持ちしている人も多く、その1人の人が倒れると活動がストップする事象もある。少しでも多くのサポーターの養成と校区単位でサポートしあう体制も必要と思われる。

3. ⇒体力測定は、シニアクラブの活用が多い。シニアクラブが介護予防を重視した活動になっている。その評価をインボディ測定結果や一体化であれば質問票等も活用している。積極的な実施の有無の違いは、シニアクラブの有無や人材が影響していると思われる。

○ 住民の活動が高まってきていることとヘルス・ステーションの設置とがつかないこととの差は、ヘルス・ステーションのシステムに課題があると思うがどう把握しているのか。

⇒ヘルス・ステーションを設置していない地域は、区長の考えや新型コロナウイルスによる地域活動の停滞により、積極的な設置が難しかったのではと思われる。

長年実施してきた活動の中で介護予防や健康づくりも実施しているので、改めて設置の

必要がないという地域もある。

また、ヘルス・ステーションが何かをしなければいけないと思っている地区もある。ヘルス・ステーションの在り方をきちんと、説明することで設置に至る地域もあると思う。最近では、補助金を使わず、区費でまかなえているヘルス・ステーションも多くなっている。

- 若者たちの情報を得る手段が YouTube であるといわれている中、食進会の YouTube で
の取組みは良いと感じた。長さも隙間時間（2～3分）で視聴できる長さが良いが、この動
画はどのくらいか？

⇒5分位

ちょうど良いと思う

- 現在、厚生労働省が健康日本 21（第三次）の計画準備を進めているが、その1つの方向
性として、アウトプットからアウトカムがキーワード。先ほどの市の報告は、アウトプット。
それが実際に健康状況に影響しているのか成果としてのアウトカムがどこなのか。次期計
画を策定するためにもう少し大学などとの連携し、分析をしても良いのでは。例えばヘル
ス・ステーションを実施の有無による健康状況の比較などができれば、ヘルス・ステーショ
ンの実施意味（関連性）が見えてくると思われる。ヘルス・ステーション設置の地域の健康
状況が良いとなれば、市民の健康の意識づけになる。各事業を群分けして、事業実施におけ
る効果を分析してみてもと思う。

(2) 市民アンケート集計結果について

事務局より、市民アンケートの集計結果について説明。 <資料 2-1, 2-2>

【質疑】

- アンケート調査の結果について、目標達成度をみると栄養関係が達成できていない。
先ほどの報告より、栄養の取組は非常に素晴らしいと思われたが、実際の評価に表れていな
い。目標が高すぎたということはないのか？
⇒二次計画の目標は、平成 28 年度の市民アンケートの結果を基準値として、6 年間の達
成可能な数値を設定している。項目によっては、新型コロナウイルスも大きく影響してい
ると思われる。
- 新型コロナウイルスの影響であれば、運動の項目も影響があると思うが、運動は目標
達成できている項目が多い。
⇒幼児は特に保護者が外に出さないことも多く、外遊びをさせていない。小学生などは、自
分で遊びに行っていることも考えられる。成人は考察ができていない。

- この数年間で、対象者がどのように変化したのか、様々な事業の関わりと成果という目線で捉えたいが、新型コロナウイルス感染症により、単純に事業の成果として比較できない部分もあるが、沢山の事業が実施されており、何が影響しどの効果につながっているかが分析しづらいと思う。少し事業を絞り込んで考えないと仕事は増えていくばかり。どの事業がどの成果を生んでいるのか、その考え方に沿ってアンケートも比較している。外部機関を活用してもどの位のデータ分析ができるかはわからないが、ある程度のスクラップ&ビルドが必要。全ての事業が均一な効果を出しているわけではないため、的を絞り事業を重点化していくという取捨選択も必要。評価とは、そのようなことを考えることでもある。

⇒効果の検証は、健診や医療費、介護認定やフレイルの状況等で分析しているが、例えば健診受診率のように母集団が少なく、1人が率に大きく影響するデータも多く苦慮している。分析の方法等教えて欲しい。

- アンケートだけでみることができている部分は限界がある。KDB（国保データベースシステム）や介護保険などデータ数も多く、客観的にみることができているデータも活用してみたい。

- アンケートの回収率 50%はすごい。このようなアンケート結果を大事に解釈するのは大切。資料1の取組み具合を大きく2群位に分け、効果を数値に反映するのは可能と思われる。小中学生はほぼ全数調査できており、とても大事な情報。加えて、学校別のデータもあると思うので、あるデータをうまく活用できると思う。また、第2条の野菜については、幼児の野菜摂取量が減るのは親が買わなくなっており、そこには、経済的な影響もある。物価の動きも含めて解釈すると実はそんなに変わっていない等の解釈もできる。もし何かあれば相談して欲しい。

- 負担がかかりすぎると職員が倒れるので、絞り込みは大切。目標設定の SMART 法則があり、達成可能な無理のない範囲での目標を設定するのが大切。

また、作業量を減らすのに、生成系 AI（チャット GPT など）が非常に優れている。うまく使えば事務的作業量を軽減することができる（例えば議事録作成など）。早めに取り入れて、作業量を減らす工夫を行い、その分を地域住民へのサービスに回していければ、もっと違う展開も考えられると思う。

⇒第三次の計画での設定時相談したい。

(3) ヘルスアップぷらん（古賀市健康増進計画（第三次）・古賀市食育推進計画（第二次）について

事務局より、ヘルスアップぷらん（古賀市健康増進計画（第三次）・古賀市食育推進計画（第二次））の取組みについて説明。 <資料3、計画策定の年間スケジュール>

【質疑】

なし

10. その他

- ・次回推進協議会開催日程について

令和5年度第2回を9月22日（金）19:00～21:00開催予定。